

[illegible]

	カ テ ゴ リ	チェック項目	取組 レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、 併せて記載してください。)	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																					
18		【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ	・ISO14001(2015年規格)の認証を取得している			3.9			6	7					12	13.3	14	15		
19		【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ	・ホームページにて開示している												12.6					
20		【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ	・コージェネレーションシステムの施設を設置し稼働している ・太陽光発電装置を設置し稼働している							7.2						13				
21		【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ													12.2	13	14	15		
22	公正な事業慣行	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本	・グループの贈収賄防止グローバルポリシーに基づき贈収賄防止規程、接待・贈答対応要領を定め運用している ・贈収賄防止に関するeラーニングを定期的実施している																16 16.5	
23		【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本	・社員行動指針に掲げ、社員に周知している ・独禁法に関するルール、体制等を定め遵守している ・独禁法の定期的な教育を実施している																16	
24		【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本	・開発製品が他社の知的財産への抵触が無い事を確認するプロセスを設け、漏れなく実施されていることを確認している								8.2 8.3	9								
25		【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本	・特定個人情報基本方針規程、個人番号及び特定個人情報取扱規程を定め、適切に管理している																16	
26		【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ	・紛争鉱物調査を毎年実施し、取り扱っていないことを確認している																16	
27		【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ	・グループのグリーン調達ガイドラインに基づき、禁止物質を制限した調達を行い生物多様性や生態系への悪影響防止に取り組んでいる ・サプライヤーと反社会的勢力の排除等倫理面の適切な対応に取り組んでいる					5			8		10		12	13	14	15	16	17
28		【パートナーシップ構築宣言】(R5.9.5～追加) ・中小企業庁等が推進する「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表している ■パートナーシップ構築宣言サイト： https://www.biz-partnership.jp/	基本	「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表している			3					8	9	10							17
29	製品・サービス	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本	・新製品開発において製品開発要領を定め、製品、サービスの安全性に対する審議、リスク分析、対策処置を行い、人に危害が加わらない設計を行っている ・製品取扱い時の安全性を踏まえた取扱い説明書、据付工事要領書を作成している			3.9									12.4					
30		【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本	・新製品開発において製品開発要領を定め、製品の品質を確保した上でない出荷できない体制を構築している ・顧客からのクレーム情報を迅速に共有する仕組みを構築し、次期モデルの設計に反映している								8.2	9								
31		【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ	・グループ環境目標に基づき定めた環境行動計画に製品の軽量化目標を盛り込み、搭載する車両の省エネに貢献する取り組みを行っている ・製品の製造から使用、廃却までトータルの環境負荷目標を設定して、より省エネ性が高い製品の開発・設計を実施している ・設備導入について環境影響評価を実施し、基準に則った設備導入を行っている ・部品の購入など、通箱等使用によるゼロエミッション活動に取り組んでいる						6.3		8.4				12.4	13.3	14.1	15.2		
32		【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ	・オゾン破壊係数および地球温暖化係数が低いR1234yf冷媒を使用した製品の開発を行っている ・消費電力を低減できる沸騰冷却原理を活用した空調機の開発を行っている						6.3	7.2 7.3	8.4	9.4		11.6	12.2 12.4	13.3				

